

令和8年度予算見積調書

課室名：保健医療政策課、感染症対策課

担当名：保健所・衛生研究所～、総務～

内線：7500

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
S52	新興感染症危機管理におけるDX体制強化事業	一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新興感染症対策事業費
事業期間	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項	令和8年度～ 根拠法 令15条第5項

1 事業概要

衛生研究所における検査業務管理システム及び保健所におけるノーコードツールを用いた患者管理システムの構築を通じて、平時から各種手続きを自動化することにより、新興感染症発生時における業務効率化に繋げる。

ア 検査業務管理システムの構築 82,944千円
 イ 患者管理システムの構築 7,257千円

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況
 検査業務管理システム整備事業債 充当率90%
 交付税措置50%

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員
 (1)人件費(既存分) $9,500\text{千円} \times 0.45\text{人} = 4,275\text{千円}$
 (2)人件費(増員分) $9,500\text{千円} \times 2.0\text{人} = 19,000\text{千円}$
 (3)組織の新設・改廃 なし

5 事業説明

(1) 事業内容

ア 検査業務管理システムの構築 82,944千円
 衛生研究所内に検査業務管理システムを構築する。
 イ 患者管理システムの構築 7,257千円
 紙カルテを用いた患者情報管理を自動化し、効率化を実現する。

(2) 事業計画

ア 検査業務管理システムの構築 82,944千円
 (ア) 衛生研究所に検査業務管理システムを構築 令和8年4月から令和9年3月を予定
 イ 患者管理システムの構築 7,257千円
 (ア) 保健所にノーコードツールを用いた患者管理システムを構築 令和8年4月から令和9年1月を予定

(3) 事業効果

平時から各種手続きを自動化することにより、新興感染症発生時における業務効率化に繋げる。
 【活動指標(アウトプット)】 平常時のPCR検査の所要時間が短縮 (36H/週→23H/週)
 平常時のPCR検査以外の所要時間が短縮 (10H/週→ 4H/週)
 感染症業務の効率化・標準化(結核の患者管理業務)
 【成果指標(アウトカム)】 PCR検査の受付から検査成績証明書発行までの日数が短縮 (6日→3日)
 平時は質の高い症例分析、現任教育等に注力することで職員の対応力を向上
 新興感染症有事においては早期の相談体制を立ち上げを実現
 患者が通知等を受領するまでの時間を短縮 (4,224H→1,920H)
 通知の早期受領により、患者の治療費立替払いの解消、早期の治療開始

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	90,201	県 債					27,201	90,201
前年額	0						0	

事業内訳書

事業名	新興感染症危機管理におけるDX体制強化事業		
単位事業名	検査業務管理システムの構築	予算額	82,944千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・衛生債	63,000	63,000	検査業務管理システム整備事業債
一般財源	19,944	19,944	
合計	82,944	82,944	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	82,944	82,944	検査業務管理システムの構築業務委託
合計	82,944	82,944	

単位事業名	患者管理システムの構築	予算額	7,257千円
-------	-------------	-----	---------

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,257	7,257	
合計	7,257	7,257	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	3,036	3,036	患者管理システムの伴走型支援構築業務委託
使用料及び賃借料	4,221	4,221	患者管理システムの患者対応用タブレット賃借料 2,501,246円 患者管理システムのノーコードツールに係るソフトウェア使用料 1,719,300円
合計	7,257	7,257	